



令和8年度
学校だより

Attractive Azuma つなが

吾妻学園

つくば市立吾妻中学校

第20号

発行日 R8. 7. 29

夏休みを成長のチャンスに 夏休み前集会



夏休み前の最終日、7月17日(金)4校時に、夏休み前集会が行われました。本来ならば体育館で行いますが、熱中症対策として被服室から各学級へのオンライン配信で実施しました。生徒会役員の進行で、まず、各種入賞者の表彰(右参照)です。部活動を中心にそれぞれ素晴らしい成績を収めました。入賞した皆さん、おめでとうございます。



つくば市総合体育大会 第3位 男子バレーボール部
つくば市総合体育大会 第3位 女子バスケットボール部
North Kanto Jr Athletic Games 2026 女子100m ○○○○
第52回石岡陸上競技選手権大会 女子100m 2位 ○○○○
第52回石岡陸上競技選手権大会 女子800m 3位 ○○○○○○
つくば市中学校陸上競技大会 共通男子4×100mR 3位
○○○○○・○○○・○○○○・○○○○
県南中学校陸上競技大会1年男子走幅跳 3位 ○○○○○○
英語プレゼンテーションフォーラムつくば市大会 県南大会出場
○○○○・○○○ ○○○○・○○○○○ ○○○○○○
つくば市軟式野球連盟中学生野球大会 3位 野球部

次に今年度の「紫苑祭」「体育祭」の9年生の実行委員から、それぞれのスローガン発表がありました。そして、木下健一郎先生(生徒指導担当)から、夏休みの過ごし方として、SNSの使い方や事故防止についてお話がありました。

最後に校長からの動画「夏休みを成長のチャンスに」を視聴しました。以下はその概要です。

夏休みは学校の授業が一時停止し、テストもしばらくないが、ホッとしているだけではもったいない。夏休みは「大きな分かれ道」。過ごし方次第で、よりよい自分になるか、変わらないどころか、かえってマイナスになってしまふかもしれない。だからこそ、成長の道を進むための2つのアイテム「限界を決めないマインド」「主体的なアクション計画」をもつ必要がある。

1つ目は「自分の限界を自分で決めない、あきらめずに続ける心を持つこと」。前回のテストをどう振り返ったか。単なる点数確認でなく、「もしも採点」(ある塾の先生おススメの、もしもここが丸だったら…という超甘い採点)で「本当は私できる!」と、自分の可能性に気付くこともよい。君たちはまだまだ伸びる。必ず成長できる。勝手に「限界の線」を引かず、やる気や自信をもって取り組んでほしい。

2つ目は「自分に必要な学習を主体的に計画する。テスト分析から自分だけの作戦を練る」。分析・発見・計画の3ステップで、弱点を知り、自分に必要なアクションを決めてほしい。まずは簡単な計画から。細かい計画でなく「ざっくり」でも大丈夫。与えられた宿題だけでなく、自分で考えて主体的に取り組むことが大切である。

「マインド」と「アクション」が成長を推進する。この2つが両輪となって初めて、夏休みが「成長のチャンス」へ変わる。今の自分とはちがう、新たな自分になってほしい。



今回、校長がこの2点をポイントとしたのは、昨年度後半、市内全校で実施した「幸せな学校づくりアンケート」調査において、本校の結果で比較的低かった項目(自己効力感・自己調整力など)があり、夏休みの学習として、その点を意識した話をしたいという思いがあったためです。

子供たちのポテンシャルは高いものがありますので、それをいかに引き出すかが重要だと考えています。そのために必要なことの1つは、テストでは測れない自己効力感や自己調整力などの非認知能力を高めることです。学習においてもスポーツにおいても、これからの人生を切り開くためにも必要な力です。

さて、夏休みも既に12日目となりました。夏休みだからこそできる様々な体験や旅行等、楽しい思い出も作りつつ、学習面においても、子供たちが一人残らず、確かな成長に向けて前に進んでいることを願っています。

<お知らせ>【～夏休み期間中、勤務時間外は留守番電話に設定されています～】

通常の勤務時間(8:10～16:40)以外、留守番電話設定をしています。ご理解ご協力をお願いいたします。